

平成 24 年度事業報告

1 概 要

平成 24 年度は、電力不足による節電対策が日本全国のテーマとなった年でした。電力の安定供給に必要な安価な資源の確保や原子力に代わる新エネルギーの開発が急がれます。

12 月の国政選挙で自民党が復権し、安倍政権によるデフレ脱却のための金融緩和策が打ち出され、円安、株高傾向に推移するとともに公共投資の拡大で経済の閉塞感を打破するための取り組みが成されました。これによって大企業では、収益の改善が図られる等経済界の動きが活発になって来ていますが、中小企業や地方への影響はほど遠いものがあります。

このような中、本シルバー人材センターでは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、平成 24 年度事業計画に基づいて事業の運営執行に努めて参りました。

課題としていた会員の拡大では、依然として厳しい社会情勢により定年退職後もフルタイムでの仕事を希望する方もあり、入会者の減少傾向は依然として変わらず、増加することはできませんでした。

事業実績では、公共、企業が年々減少する中、個人の受注は増加しており、これも会員の皆さまが誠実に仕事をしてきたことの結果であり、数多くの市民の皆さまに期待されていることの現れであるといえます。

受託事業の契約金額は 176,873,592 円で、材料費が減少したため前年度に対して 169,522 円の減額となりましたが、派遣契約が 9,361,696 円で、2,225,709 円増加したため、全体としては若干の増加となりました。

安全就業については、最重要事項として取り組みましたが事故の減少が見られず、入院を要する事故も有り安全対策及び意識の改善等、更なる強化が必要です。

特に、安全用具使用の徹底、就業前後におけるミーティングを実践しなければ事故は無くならないことの自覚を求め、安全就業をお願いするものがあります。

シルバー人材センター事業は、高齢者の生きがいの充実を図り活力ある地域社会づくりに寄与するためのものであり、その活動は安心、安全で信頼される事業でなくてはなりません。

会員の皆さまと役職員が一体となって、事業を展開できるようご協力をお願いいたします。

2 実施事業

(1) 就業開拓提供事業

会員の拡大と就業機会の確保を目指して、就業開拓推進委員会を中心に家庭、事業所、公共団体への訪問活動を展開して参りました。

受注件数 3,952 件中、新規発注者からの受注は 349 件で受注件数の 8.8% を占め、新たな顧客の確保につながっています。

就業支援では、就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会を開催し就業に役立てて貰うほか、より多くの会員が就業できるよう就業相談会を実施するとともに、未就業会員への積極的な呼びかけを行いながら、就業率向上に取り組んで参りましたが、前年度に対して、5.7 ポイント減の 93.2% となりました。

また、会員の拡大については、会員の減少化を解消するため各職群班で 1 割増を目指しましたが増やすことはできませんでした。

新規入会者数 49 人に対して退会者が 50 人で、年度末会員数は 369 人となりました。

(2) 普及啓発事業

広報部会及び広報紙編集委員会を中心に事業の普及啓発に努めました。

市内全域に周知を図るため、広報紙「シルバー出水」を年 2 回全戸配布するとともに、10 月の普及啓発月間では市庁舎に懸垂幕を設置し、広報を行いました。

また、役職員が街頭へ出てリーフレット、ティッシュの配布や市のイベントである大産業祭に出店参加し、会員の手作り作品等を販売しながら、事業の普及啓発に努めました。

会員全体の取り組みとしては、市内 10 カ所（会員 260 人、職員 7 人、一般参加 8 人）で清掃、除草のボランティア活動を行い、社会貢献と普及啓発を兼ねた取り組みを行いました。

(3) 安全・適正就業推進事業

安全・適正就業計画に基づき、安全大会（参加者 185 人）を開催し、合わせて交通安全講習会や安全就業講習会において安全意識の徹底を求め、会員の就業中及び途上中の事故防止、健康の管理や安全標語の募集、安全ニュースを通じての意識の高揚に努めて参りました。

また、毎月の安全・適正就業対策推進委員会委員による安全パトロールに加え、理事による安全巡回指導を実施し、安全対策等に直接現場で会員の声を聞きながら取り組んで参りましたが、シルバー保険適用事故では傷

害事故3件、賠償事故4件が発生しました。

依然として事故撲滅に至らず、安全に対する意識の高揚が大きな課題となっています。

(4) 企画提案方式事業

国の最長3年の補助事業である企画提案方式事業として「地域で見守り安心サポート事業」と「美しい農山村景観保全事業」の2つを実施して参りました。

① 子育て・介護支援関係では、市内の独居老人を中心に介護、家事支援等のサービスと、育児支援として託児サービスやイベント時の預かり等を通じて子育て中の方のサポートを行い、会員のサービス向上のための講習会として育児支援講習会、介護講習会を開催しました。

② 第1次産業・環境関係では、遊休地を利用して農作物の栽培を行って参りましたが、会員のボランティアによるところが多く、今後は事業化していくことが課題となっています。

また、空き家、空き地及び墓地等の環境改善面に対する取り組みとして、全国の「出水会」へのPRを行いながら取り組んで参りました。

300件を超える市外居住者の依頼があり、今後ますます需要が増える要素を持っています。

努力目標値に対する実績

項目	目標値	受託事業	達成率	派遣事業含む	達成率
会員数	450人	369人	82.0%	369人	82.0%
就業率	98.0%	93.2%	95.8%	95.4%	98.0%
受注件数	4,200件	3,952件	94.1%	3,968件	94.5%
就業延人日	33,000人日	32,171人日	97.5%	33,691人日	102.1%
契約金額	180,000千円	176,874千円	98.3%	186,235千円	103.5%

実績報告資料

1 会員の状況

(1) 会員の推移 (人)

性別	前年度末	新入会者	退会者	本年度末
男性	243	34	35	242
女性	127	15	15	127
合計	370	49	50	369

(2) 入会者と退会者の平均年齢

区分	新入会者		退会者	
	男性	女性	男性	女性
平均年齢	66.6歳	66.4歳	71.3歳	74.5歳

(3) 年齢別構成 (人)

性別	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～ 74歳	75歳～ 79歳	80歳 以上	合計	平均 年齢
男性	42	81	64	42	13	242	70.4歳
女性	12	30	46	29	10	127	72.0歳
合計	54	111	110	71	23	369	71.0歳

(4) 退会理由 (人)

性別	病 気	就 職	死 亡	転 居	家 庭 事 情	加 齢	不 満	そ の 他	合 計
男性	18	2	1	1	2	5	1	5	35
女性	3	0	0	0	7	4	0	1	15
合計	21	2	1	1	9	9	1	6	50

2 事業実績

(1) 月別事業実績

月 別	会員数 (人)	受 託 件 数 (件)	受 注 件 数 (件)	就 業 実人員 (人)	就 業 率 (%)	就 業 延人員 (人日)	契 約 金 額 (円)
4 月	376	320	340	256	68.1	2,013	9,819,205
5 月	379	402	335	269	71.0	2,945	15,922,610
6 月	378	367	269	268	70.9	2,618	14,191,234
7 月	383	531	444	283	73.9	2,896	15,507,067
8 月	388	541	436	266	68.6	3,124	17,286,253
9 月	388	527	437	280	72.2	3,097	17,437,991
10 月	389	473	367	268	68.9	3,119	18,360,433
11 月	394	445	359	259	65.7	2,865	16,527,361
12 月	395	448	359	278	70.4	3,069	16,630,220
1 月	390	294	219	252	64.6	2,550	14,215,670
2 月	386	274	187	249	64.5	1,948	10,561,682
3 月	369	282	200	254	68.8	1,927	10,413,866
累 計	369	4,904	3,952	344	93.2	32,171	176,873,592
前年度計	370	4,947	3,901	358	96.8	32,295	177,043,114
増 減	△ 1	△43	51	△ 14	△ 3.5	△ 124	△ 169,522
前年度比	99.7	99.1	101.3	96.1	96.3	99.6	99.9

(2) 契約金額内訳

(円)

年 度	配分金	材料費	事務費	合 計
24 年度	150,918,848	11,986,419	13,968,325	176,873,592
23 年度	150,384,551	12,664,942	13,993,621	177,043,114
増 減	534,297	△678,523	△25,296	△169,522

(3) 発注者別事業実績

発注者	平成 24 年度			平成 23 年度		
	受注 件数 (件)	就 業 延人員 (人日)	契約金額 (円)	受注 件数 (件)	就 業 延人員 (人日)	契約金額 (円)
公 共	113	7,232	45,984,797	121	7,312	46,530,569
一般企業	331	8,663	38,390,553	345	8,783	39,206,580
個人・家庭	3,507	16,262	92,386,114	3,434	16,189	91,252,811
独自事業	1	14	112,128	1	11	53,154
合 計	3,952	32,171	176,873,592	3,901	32,295	177,043,114

(4) 職群別事業実績

職 群	平成 24 年度			平成 23 年度		
	職群別 登録者 (人)	受注 件数 (件)	契約金額 (円)	職群別 登録者 (人)	受注 件数 (件)	契約金額 (円)
技 術 群	16	5	91,833	20	2	21,560
技 能 群	92	1,654	40,351,746	96	1,722	42,333,898
事務整理群	14	26	251,209	13	26	299,070
管 理 群	9	38	12,182,157	10	42	13,005,328
折衝外交群	18	9	4,666,337	18	8	9,628,832
一般作業群	195	2,146	110,490,404	186	2,027	107,696,440
サービス群	25	73	8,837,706	27	73	4,055,786
そ の 他	0	1	2,200	0	1	2,200
合 計	369	3,952	176,873,592	370	3,901	177,043,114

(5) 一般労働者派遣事業

年 度	登録会員数 (人)			受注件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額 (円)
	男性	女性	計			
24 年度	53	22	75	16	1,520	9,361,696
23 年度	49	21	70	15	1,318	7,135,987
増 減	4	1	5	1	202	2,225,709

3 シルバー保険適用事故

(1) 傷害保険対象事故

事故発生日時	年齢 性別	程 度	事故の状況
5月17日(木) 午前10時40分頃	75歳 男性	入院73日 通院15日	剪定作業中、脚立から降りる途中、足を踏み外して落下。左かかと粉碎骨折。
5月17日(木) 午後4時40分頃	69歳 男性	入院10日 通院1日	剪定作業中、脚立を立て掛けていた壁木が折れ、その反動で後ろに転落。後頭部挫傷。
10月26日(金) 午前11時30分頃	73歳 男性	通院5日	剪定作業中、道具を片付けようとして、誤って電動バリカンのスイッチが入って右手人差し指に接触。3針縫合。

(2) 賠償責任保険対象事故

事故発生日時	年齢 性別	賠償額	事故の状況
4月18日(水) 午前10時00分頃	70歳 男性	5,250円	ナイロンカッターを使用している草刈り作業中、隣接する住宅のドアガラスに小石を飛散させ、破損。
7月26日(木) 午前10時00分頃	72歳 男性	70,000円	剪定作業中、弱っているマツに手を入れたため、その数日後枯れた。 代替品を植え替え。
10月12日(金) 午後2時00分頃	69歳 男性	297,000円	剪定作業中、立て掛けていた脚立が倒れ、通行中の車に接触。
11月6日(火) 午後4時30分頃	63歳 女性	2,880円	清掃作業中、トイレの照明器具のカバーが外れ、落下し割れた。

4 講習会等実施状況

(1) 技能講習会

講習会名	開催日	受講者数	開催日	受講者数
剪定整枝技能講習会	5月25日	47人	10月5日	37人
刈払機の安全操作及び 点検整備講習会	6月29日	48人		
育児支援講習会	9月26日	18人	10月26日	11人
家庭菜園づくり講習会	9月26日	11人	3月8日	12人
介護講習会	2月7日	19人		
掃除講習会	3月5日	14人		

(2) その他の講習会

行事名	開催日	講座名	参加者
安全大会	7月4日	交通安全講習・安全就業講習	185人
女性会員の集い	2月26日	消費生活講座・AED講習	53人

5 ボランティア活動

(1) 清掃・除草

活動場所	参加人数	活動場所	参加人数
海洋公園海の家周辺	18人	特攻碑公園桜並木通り	47人
福ノ江海岸	26人	高野山公園	43人
大川内農村広場	10人	高尾野ポケットパーク	26人
国道447号線	23人	小山川丘公園	22人
麓武家屋敷駐車場	24人	野田保健センター	21人

(2) 手作り雑巾の寄贈

107人の会員から619枚の雑巾が集まり、3月12日に市内4小学校へ寄贈しました。

平成 24 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

平成 25 年 5 月

公益社団法人出水市シルバー人材センター